



CSたより

7号

コミュニティ・スクール

8月を迎え、じりじりと照りつける辛い暑さも、まだまだ続いています。夏にしか出来ない子供たちの大好きな水遊びや虫探しなどは、今が本番かと思います。また、夏休みだからこそできる体験もたくさん経験していることかと思えます。しかし、連日の暑さが続く中、疲れも出やすくなる時期でもあります。十分な休息をとりながら無理なく、健康管理や暑さ対策に気を付けながらお過ごしください。

さて、前回(6号)では、5月に実施された「ふるさと科」の一部を紹介いたしました。今回は、その後の活動と7月19日に開かれた学校運営協議会についてお伝えいたします。

5月の「ふるさと科」



○ 鹿嶋神社 (5月23日)

宮崎にある鹿嶋神社に行ってきました。鹿嶋神社は、宮崎地区の入り口に建立されていますが、かつては、海岸から見える沖の島にあったと言われています。さみさと小学校の子供たちは、鹿嶋神社の拝殿に入り、宮司の九里文子さんから宮崎地区の人たちが神社に寄せる思いを聞きました。また、社に施されている装飾彫刻のいわれ(ヤマタノオロチのお話)を宮司さんが手にする絵本とともに目にしました。宮司さんのお話を聞きながら、彫刻の迫力に息をのんで見つめていました。



鹿嶋神社 拝殿

○ 稚児舞

鹿嶋神社の拝観後、カルチャーセンターみやざきで、鹿嶋神社の稚児舞について学びました。宮崎稚児舞保存会の水嶋征平さんから、まつりの話を聞きながら、宮崎の子供たちが踊る稚児舞の映像を見せてもらいました。稚児舞は、男児の「槍踊り」、女児の「扇踊り」で構成されており、悪霊退散と海の被災者への鎮魂を祈る意味が込められているとのことでした。子供たちは、宮崎地区にある稚児舞のいわれを聞き、まつりをもつ意味に気付くことができました。この稚児舞の学習では、宮崎地区の子供たちが大活躍で実際に踊って、友達に見せるなど和やかで楽しい学習となりました。



カルチャーセンターみやざき



男児の「槍踊り」



女兒の「扇踊り」

6月の「ふるさと科」

○ 舟川四重奏、田んぼアート (6月13日)

「朝日町の偉人に学ぶ」というテーマで、地域学校協働活動推進員の水野瑠美子さんから、藤井十三郎と山崎市次郎の耕地整理（県内初）の苦心について話を聞きました。その後、舟川地区の方々を中心に、春の四重奏（桜）ばかりでなく、秋の景観も全国に発信していきたいとして、田んぼアートにも取り組んでいることをチュリストの山崎修二さんから聞きました。田んぼアートの面白さとその雄大さに子供たちからは歓声が上がっていました。



舟川べり



田んぼアート



田んぼアートの説明

○ あさひまつりのゆらい (6月23日)

教室で、あさひまつりについて学習しました。現在、あさひまつりは、町で一番にぎやかなイベントとなっています。そのまつりについて、水野瑠美子さんと商工会の方々から、話を聞きました。主な内容は、以下の通りです。子供たちにとっては、初めて聞くことばかりで、とても興味が惹かれました。

58年前、町の商工会の人たちが企画しました。そのとき、朝日音頭をつくり、町の婦人会の人たちにも協力してもらい踊ってもらいました。町制50周年（平成16年）のときは、今のアスカの広場に移動しました。今ではよく知られている「まめなげ!あさひ」（平成18年）や、「まめなげ戦隊マメレンジャー」（平成18年）が登場しました。

子供たちは、多くの町の人たちの協力を得ることで、あさひまつりが成り立っていることに気付くことができました。



○ 朝日町小学生ビーチボール競技交流大会（6月28日）

○ 中学3年球技大会（7月20日）朝日中学校

町の2つの小学校では、5年生を対象に、ビーチボール競技交流大会が行われました。また、朝日中学校では7月20日に、3年生の球技大会が行われ、ビーチボール競技で汗を流しました。ビーチボール競技は、朝日町が発生の地であり、今では、全国に広まっている競技です。全国大会も4年ぶりに7月1日（土）、2日（日）に町のサンリーナでおこなわれました。



子供たちには、楽しさとともに競技を通して、人と人とのつながりの温かさを感じてくれればと思います。この活動には、朝日町ビーチボール協会の方々の支援を受けています。今後も、この活動を大切にしていきたいものだと思います。

※ その他にも、土器づくり・まいぶんKAN（6月29日）、朝日町のよさを発見（6月30日）、歴史探訪（7月3日）、ヒスイ海岸・宮崎城跡（7月12日）、笹川諏訪神社（7月18日）、境A遺跡（7月19日）等の学習が実施されました。4月から実施されている「ふるさと科」は、現在、昨年と同じ数以上の学習活動が行われています。この他に、学校独自で進めているものもあり、それらも加えるとこれ以上の実施数となっています。

令和5年第1回学校運営協議会（7月19日）

7月19日（水）、令和5年度第1回学校運営協議会が開かれました。研修会の後、地域学校協働活動、らくらく登校ウィークについて協議、報告等がなされました。その後、各学校から本年度の教育方針や子供たちの様子について報告を受けました。



○ 研修会

令和4年度から、朝日町では「保小中一貫教育」と「コミュニティ・スクール」を進めています。そのねらいと活動について研修を深め、委員の皆様にご理解いただきました。

○ 朝日町地域学校協働活動

朝日町地域学校協働本部には4つの部会があり、それぞれの部会で活動を進めています。活動の様子を深松委員に説明してもらい、その成果と課題について話し合いました。

・ ふるさと学習支援部会

「ふるさと科」は、各教科や学校行事の中で学校と地域学校協働本部が連携して実施されています。

そのため、とても効率よくねらいに沿った学習が展開されています。年間指導計画も立案されており、各学校では、それにもとづいて学習が進められています。また、学校と地域学校協働本部との連携を今まで以上に密にしていくことで、より充実した学習活動を進めることができると助言を受けました。

・ 登下校安全支援部会

通学路安全点検が行われ、その結果が、町ホームページに8月下旬から9月上旬に掲載される予定です。スクールバスの運行は、小学校は通学距離2km以上です。例外として、冬季の除雪が困難な場合等があるとき、2km未満でも運行することがあります。ただ、これは、学校から申し出があった場合のみです。中学校の場合は、境と宮崎地区を対象に通学距離が4km以上の生徒が対象になります。現在8名の運転手で運営していますが、理想は12名です。町教育委員会では、バスの運営について検討しているところです。

・ 放課後支援部会

中学校では、中学3年生（部活動引退後）を対象に、水曜日と金曜日の午後4時から5時まで、学習支援が行われています。2年生は、期末試験前の部活動停止期間に実施しています。指導者は、朝日中学校のOBである大学生、退職教員の方々が、その指導にあたっておられ、子供たちはもちろん保護者からも大変好評をいただいています。

・ 学校部活動支援部会

今年度、学校部活動支援コーディネーターとして、水島康寿（みずしま やすなが）さんが従事されました。部活動とコミュニティクラブの調整や指導等を行っていただいております、大変子供たちの活動が充実し、教職員の負担も軽減されています。

○ らくらく登校ウィーク

らくらく登校ウィークとは、今までの紙媒体の教科書をタブレット（教科書の内容を搭載）に置き換えて自宅に持ち帰り学習を進めるという活動です。つまり「置き勉」という言葉で表される形態で、ここでのねらいは、以下のものです。

らくらく登校ウィークのねらい・・・ねらいは、2つあります。



1 タブレットを使い、家庭学習を充実させる。

2 子供たちの重い鞆を軽くし、身体的負担を軽減する。

タブレットの活用については、これからの社会生活において、一人一人の子供たちが、柔軟に活用を図っていくことができるようにという大切な施策となっています。また、年々重くなる子供たちの鞆の重さに対する軽減策については、試験的な実施結果から保護者や子供たちから、大変歓迎されています。ちなみに、小学校6年生では、4.8 kgの荷物が3.9 kgに、中学校では、10 kgが8.3 kgとなりました。町教育委員会では、小中の全児童生徒に対して、2学期からの実施を予定しています。



今回は、2学期になります。様々な子供たちの様子をお伝えできればと考えています。

朝日町地域学校協働本部（朝日町教育センター内）
電話：090-7180-9179
FAX：(0765)83-0279 担当 山崎
Email：asahi.chiikigakkoukyoudouhonbu@gmail.com